

神装協の「けんこう壁紙」が
2021年10月17日 神奈川新聞の朝刊で紹介されました!

体に優しい壁紙開発

自分で壁に貼って手軽に部屋の模様替えができるインテリア製品「けんこう壁紙パネル」を、県室内装飾事業協同組合（横浜市中区）が開発した。パネル販売を通じて、下請け工事が中心で小規模事業者が多い組合員の収益向上や、消費者との接点づくりにつなげる狙い。同組合初のオリジナル商品で、SDGs（持続可能な開発目標）推進の取り組みでもあるという。

（吉田 勝行）

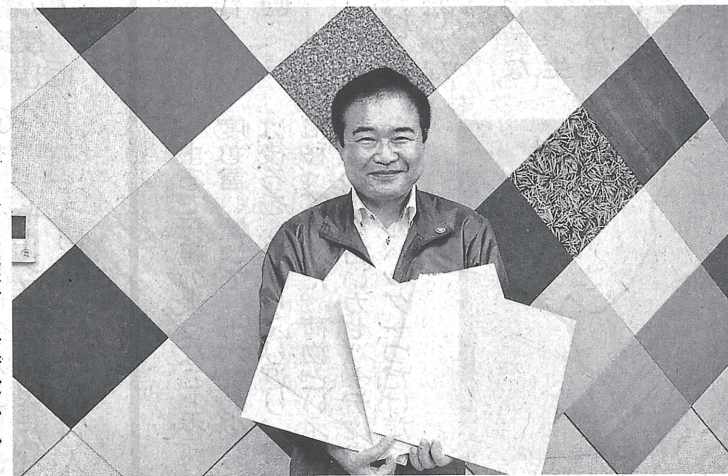
県室内装飾 事業協同組合 （横浜市中区）

「けんこう壁紙パネル」は1枚30センチ四方。厚さ5ミリ、スチレンボードに壁紙クロスを貼り付けた。壁紙は「抗アレルギー」「抗ウィルス」「抗菌&防汚」「消臭」「抗カビ」と機能別に5種類あり、デザインも多彩な色柄で計50種類をそろえた。好みのデザインを組み合わせて「プチリフォーム」が楽しめる。



パネルは1枚70センチと非常に軽く、両面テープで既存の壁紙の上から重ねて貼ることが可能。季節ごとに貼り替えたり、ドアや家具に貼ってアクセントにしたりと、手軽に室内の模様替え

パネル型で多種多様



「けんこう壁紙パネル」を発売した渡辺専務理事
＝横浜市中区の組合事務所

ができる。壁紙の機能を生かして、健康ニーズだけでなく、トイレの消臭や子ども部屋の壁の傷付き防止といった用途も想定している。「ホームセンターで売っている（シート状の）壁紙を業者に依頼せず、自分で貼るのは難しい」と同組合の渡辺英和専務理事。長年の内装会社を経営していた経験から、壁紙のパネル化を発売。2019年に同組合が加入する県中小企業団体

◆県室内装飾事業協同組合 建物のクロス壁紙やカーペット、カーテン等の室内装飾の販売や加工、施工工事を行う約190事業者で構成。横浜市中区尾上町3の43の3A。☎045（662）5650。

中央会（同）に商品化を相談し、開発に着手した。

背景には、「組合員の小規模事業者は長年にわたって高齢化や後継者不足に加え、価格競争で安定した工

事の受注が難しい状態」という悩みがある。組合員に対し、組合が一般消費者向け商品を提供することで、ゼネコンなどの下請けであるBtoBからBtoC

へ、事業の見直しや多様化を図ろうと考えた。

パネルは約2年間の試行錯誤を経て、今夏ようやく完成。新型コロナウイルス禍で家庭内の感染予防、テレワークの定着といった住居に対するニーズの変化や「おうち時間」の増加によ

るDIY人気も追い風に、「健康への意識の高まりに対応する機能を持ったパネルを組合員が今後、販売窓口になることで消費者とつながり、リフォーム工事のニーズも取り込める」（渡辺専務理事）と期待する。

また、組合員に「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」といったSDGsに着目してもらうきっかけの取り組みでもあるという。

渡辺専務理事は「暮らしに安心感と安全をもたらし、快適に生活できる環境を提供する内装専門事業者の団体として、組合員の事業の成長だけでなく、広く社会に貢献できる意義は大きい」と話している。

「けんこう壁紙パネル」は、1セット12枚（約0・7畳入り）5千円（送料別）で、1〜6色まで選べる。カラーサンプルの請求や問い合わせは、同組合事務局

☎045（662）5650。